

# 効率的な繁殖のための移行期管理 ～繁殖成績改善のための栄養管理～



全酪連は、2018年2月にイリノイ大学畜産学部助教授フィル・カルドーン博士を招聘し、全国6会場にて、全酪連酪農セミナー（平成29年度）を開催いたします。講師のカルドーン博士は、イリノイ大学で乳牛栄養学分野の研究を行う一方、酪農現場への技術普及に対しても精力的に活動している研究者です。今回のセミナーでは、繁殖成績改善に主眼を置いた移行期牛の管理についての最新情報を、暑熱ストレスの影響なども踏まえた幅広い視点から紹介する内容を予定しています。また、セミナーとは別に研究者・指導者の皆様に向けた最先端情報を発信するワークショップも開催致します。是非ご参加下さい。



## 講師

**フィル・C・カルドーン博士**  
イリノイ大学 畜産学部助教授

### 【研究領域】

- ・栄養と代謝性疾患、繁殖、移行期および生産性の関連
- ・乳牛の移行期栄養と脂質代謝、インスリン感受性に関する研究
- ・繁殖成績を最適化するための移行期栄養戦略
- ・アミノ酸給与が繁殖に及ぼす影響



### 【経歴】

- 2001年 ブラジル リオ・グランデ大学獣医学科 卒業  
獣医師免許取得
- 2007年 反芻動物臨床および生化学修士号取得
- 2007-2009年 ブラジル サンパウロ大学にて研究員
- 2012年 イリノイ大学畜産学部 栄養学博士号取得
- 2012年-現在 イリノイ大学畜産学部 助教授

## 酪農セミナー2018

### 第1章 繁殖で覚えておくこと

- 繁殖器官・生理、管理の基本

### 第2章 受胎率改善のために分娩前後の栄養を最適化する

- 受胎率と乳量の関係
- 初期胚の死滅ロス
- 移行期の生理と栄養管理・肝機能
- 乾物摂取量、ボディコンディションの管理
- ボディコンディション損失と蹄病の関係
- クロースアップ期の栄養と給餌
- 飼料の粒子サイズ、澱粉濃度
- TMRの有効繊維・uNDF240 コンセプト

- 乾乳牛飼料設計の推奨

### 第3章 暑熱ストレス・・・単なる暑さだけではない

- 地球規模の温暖化
- 暑熱ストレスと経済性
- 暑熱ストレスを生理学的側面から理解する
- DCAD（飼料中陰イオン-陽イオン差）調整
- 乳熱・低カルシウム血症と暑熱ストレスへのDCAD調整の違い
- 乾乳牛のDCAD調整、泌乳牛のDCAD調整
- 環境への暑熱対策（特に高温多湿）

## ワークショップ2018

### 第1章 アミノ酸・脂質栄養と初期胚

- 初期胚ロス
- アミノ酸栄養と発育
- 子宮回復とアミノ酸
- 脂質栄養と胚ロスの関係

### 第2章 暑熱ストレス・・・単なる暑さだけではない

- 暑熱ストレスの生理的影響
- 乳量低下の機序
- 暑熱と腸の健康
- 暑熱ストレスの繁殖への影響

### 第3章 低カルシウム血症と予防法

- 乳牛のカルシウム代謝
- 潜在性低カルシウム血症の問題と予防法
- DCAD（飼料陰イオン陽イオン差）コントロール

### 第4章 乳牛へのクレイ（粘土）利用

- クレイとは？その構造と機能
- カビ毒の弊害とその最新研究



**開催日時と場所** ※各会場とも開会は10:00、閉会は16:00の予定です。

2月7日(水)	熊本セミナー	グランメッセ熊本
2月9日(金)	名古屋セミナー	ミッドランドホール
2月13日(火)	岡山セミナー	岡山国際交流センター
2月15日(木)	帯広セミナー	北海道ホテル
2月16日(金)	帯広ワークショップ	北海道ホテル
2月19日(月)	仙台セミナー	江陽グランドホテル
2月20日(火)	東京セミナー	ランドマークスクエアトーキョー

## 参加費

1名様 ¥5,000（テキスト・昼食代含む）

## 対象

酪農家・組合役職員・公的指導機関、あるいは研究者・獣医師・コンサルタントの方々

お申し込み・お問い合わせは、最寄の全酪連支所まで

